

第3回 まちあるきウォッチング in 峰山

平成24年8月10日(金)に、市内の小学生31名が参加して峰山地域の歴史や景観について学びました。

行程は「長崎堤防(景観重要資産)」→「熊野神社」→「峰ヶ城跡」→「江之口橋(景観重要資産)」→「武家屋敷跡」→「昔ながらの家(襖絵)」を見学しました。

当日は、峰山地区コミュニティ協議会のご協力により、各施設での説明をしていただいたほか、日頃は見ることができない個人のお宅にある石蔵や昔ながらの家にある有名な画家の描いた襖絵を見ることができるなど、今回のまちあるきウォッチングは、建築物や文化に特化したものでした。

※景観重要資産とは、薩摩川内市ふるさと景観計画において規定されているもので「各地区のシンボルやイメージとなっていて、周辺住民に愛され親しまれている景観資源」のことです。



